

2015 vol.198 APR

SOUSAKU

創作手工芸



公益財団法人日本手工芸作家連合会

●見立ての美

公益財団法人日本手工芸作家連合会
会長 花村邦昭



日本の「美」の一つに「見立ての美」があります。それは極微の世界に大自然を再現する「なぞらえ」です。日常のありふれた素材を使って表現する宇宙の「しずけさ」です。日本料理や茶室の「しつらえ」もそこに通じています。「もてなし」「ふるまい」「たたずまい」など、日本特有の気配りがその根底にあります。手工芸が目指すのもそれです。

その基本は、①用に忠実に材料の性質を活かすこと、②材質と様式とがバランスを保っていること、③過度の整然さを要求せず、作為的な仕上げが自己目的化しないこと、④豊かな感受性と想像力で自然と調和的に生きる術を示すこと、⑤創案に富んだ意外性をもって不断の変化を作品に盛り込むことで力強い動感と高潔な親しみやすさをそこに生み出すこと、などです。

ウィリアム・モリスも「日々の生活が日々の芸術創造」であるような、「生活における人間の喜び」が「制作者と使用者にとっての幸福」であるような、そういう応用美術を目指しました。構想する人（デザイナー）と制作する人（クラフトマン）が一人の人

間のなかにいる手工芸に「ものづくり」の原点を見出しました。われわれ「日本手工芸作家連合会」が目指しているのもそれです。「生活美の体験」であり、「生活の芸術化」「芸術の生活化」です。繊細さと力強さが美意識によって止揚される「生活総合美学」です。

手工芸は単なる手作業ではありません。祈りにも似た崇高な営みです。“いのち”の顕現でありその体験です。経験世界の感覚的現実性の奥底に＜深層意識の存在無分節次元＞（高度な精神的営為によってのみ触れることが許される異次元空間）をイメージ的に垣間見ることが出来る者こそ手工芸作家です。垣間見するためにはその異次元へと切り込まねばなりません。その切り口からイメージがほとぼしり出ます。手工芸の基層にあるのは、深層意識の地平に身を置いて、そこから表層意識の世界を眺めつつ、その表層—深層の両領域をイメージをもって繋ぐ営みです。つまり、手工芸とは、＜深層意識の存在無分節次元＞そのものの身をもっての顕現体験にほかなりません。自明の風景を引き裂き、自明の体制を変革し、凍てついた大地にヒビを入れるのです。そして、その破壊に向けられたエネルギーを顕現体験としての“いのち”の営みへと転換するのです。これは頹落した日常性に抗する崇高な魂の営みなのです。

昨年の「創作展」では、英国からの「遊佐刺し子」作品の出展もありましたし、コソボ難民の母がやがて嫁ぐ我が娘のために長年かけて織り上げたタピストリーの特別展示もありました。手工芸文化は愛と平和の象徴です。陰惨なテロ事件が多発する世界にあって、“いのち”の尊さをできるだけ多くの人と分かち合いたいと思います。「日本手工芸作家連合会」がそのためのささやかではあっても何らかの“絆”となれたらと願っています。

審査委員長 大 矢 紀



第47回創作手工芸展も例年の様に個性あふれる作品が出品され、審査する側も気持ちを整えて公平に審査にあたりました。

文部科学大臣賞は厳正な審査の結果、田村紀子さんの「し

ばれる夜」が選ばれました。この作品を見た瞬間、なんと美しいグラデーションだろうと思ったのが第一印象で、よく見ると青色を基調にいろいろの形態を組み合わせ、素晴らしいハーモニーを奏でています。(大矢 紀)

東京都議会議長賞はあだち三和子さんの「悠久の時間(とき)」が選ばれました。一陣の風によって天高く、緻密な卵殻技術を使い鮮やかな華花(はなばな)が舞い上がる。背景の白い凹凸壁面がそれらを際立たせる。バランスの取れた勢いのある立体造形で斬新な作品です。

(田口 義明)

大妻コタカ賞は木庭慶子さんの「秋彩のころ」が選ばれました。紅葉と淡い緑を残す山の「日本の叙景」を、和洋の両方の技を横断的に駆使して見事に表現されました。熟練の刺繍と、四季折々の風景を芸術へと変える精神の豊かさも伝わってまいります優れた作品です。

(鶴岡 真弓)

日本手工芸作家連合会会長賞は佐久間恭子さんの「馴染む」が選ばれました。軽やかなレースの流れ、重厚な「吉野織」のバック、大胆な中央に割れを削り抜いて透明感を醸し出した工夫、見事です。(花村 邦昭)

審査委員長賞は阿部敬子さんの「糸まき」が選ばれました。緻密な刺し子とアップリケによる糸まきの意外な組み合わせ。縦・横・斜めに配列されたさまざまな形状の糸まき、針箱から飛び出した裁縫道具たちは踊っているようにも見え、針仕事を楽しむ作者の気持ちが伝わる作品に仕上げられています。(小笠原 小枝)

奨励賞は2名。青木悦子さんの「夫婦でこぎん刺し」は、しっかりした技法に裏付けされた刺し子でペアーマフラーが微笑ましい作品です。平山美智子さんの「御殿毬」は、50数個の毬が色とりどりに美しく、日本人だけでなく外国の人々にも心を打つ作品です。佳作は、平田光政さんの「ワイン・クーラー(再生大鉢)」は古木の大鉢に百合花を豪快に鎌倉彫で仕上げた見事な作品です。田中ひとみさんの「モザイクタイルの縞遊び」は、単純な文様になりがちな所を蝶や花びらの様に仕上げた作品です。管原淳子さんの「平成雛」は楽しい鳥をはじめ、毬、魚、動物など微笑ましく嬉しくなる作品です。新人賞は3名。福田りおさんの「羊毛フェルトのスイーツ」は、どれも美味しそうで女性に人気のお店に飾っておきたい一品です。大竹みどりさんの「おしえ」は、人生訓の染めで人生の波文様をさらりと仕上げ、笹原木実さんの「秋桜」は、和洋の部屋を問わずさり気なく飾りたい作品です。特別賞10点は、どれも個性あふれ、特に後藤恵子さんの「大地の舞」は力作で、大作に自分の想いが強く込められた作品です。

今回特筆すべきは、イギリス ロッホローモンドキルトクラブの皆さんの作品が国際色豊かに多数飾られた事ですが、山形遊佐刺し子の講師 土門玲子氏の尽力による所が大です。豊かな土地スコットランドの民族色と遊佐の刺し子とのマッチングはうれしい事で、山形新聞にも写真入りで大きく取り上げられました。最後にセルビアのネヴェンカ・ステヴィッチさんのタペストリー「母から娘への贈り物」は、胸に来るものがありました。この大作は、コソボの内戦を潜り抜け、いま我々に常に平和でなければ文化、芸術の花は咲かないとの思いを伝える素晴らしい作品であると感じました。

日本にはいろいろ問題はありますが、平和であるこういう刻こそ、より素晴らしい文化の花を咲かせたいものです。第48回~50回に向かって創作手工芸展、頑張りたいものです。

(日本美術院同人)

第47回創作手工芸展 受賞作品



文部科学大臣賞
「しばれる夜」
田村 紀子

2度目の出展で、このような大きな賞を賜り、本当にありがとうございました。日が経つにつれて賞の重みを実感し、身の引き締まる思いの中にいます。「津軽こぎん刺し」は、布目を奇数で拾って刺し、美しい幾何学模様を作り出します。書いた物は残されていず、女性たちの手から手へと伝えられてきたと言われています。

この度の賞は、これからの創作に大きな励ましをいただいたと感じ、これからも古くから伝えられてきた模様を大切に守りながら、自分らしい表現で作品を創っていきたいと思っています。



東京都議会議長賞
「悠久の時間(とき)」
あだち 三和子



大妻コタカ賞
「秋彩のころ」
木庭 慶子



日本手工芸作家連合会会長賞
「馴染む」
佐久間 恭子



審査委員長賞
「糸まき」
阿部 敬子



奨励賞
「夫婦でこぎん刺し」
青木 悦子



奨励賞
「御殿絨」
平山 美智子



佳作
「ワイン・クーラー(再生大鉢)」
平田 光 政



佳作
「モザイクタイルの編遊び」
田 中 ひとみ



佳作
「平成雛」
管 原 淳 子

新人賞 「おしえ」 大 竹 みどり

この度は新人賞を戴きましてどうもありがとうございました。この作品は和歌をクロスステッチという極めて簡単な技法で刺繍をしたものですが、製作中は先人へ想いを馳せながら、日本人であることへの感謝と誇りを改めて実感することが出来その上、賞を戴きましたことに心から感謝致します。どうもありがとうございました。



新人賞 「秋桜」 笹 原 木 実

思いがけずの新人賞を賜りありがとうございました。身近に感じてもらえる日本刺繍を心がけて制作してきました。刺し方は、日本刺繍の基本に忠実に色、デザイン等は、従来にとらわれず、しかしより絹糸を美しく見せられる作品をこれからも目指していきます。



新人賞 「羊毛フェルトのスイーツ」 福 田 り お

この度は新人賞という評価を、ありがとうございました。羊毛ニードルフェルトという新しい技術に出会い、独学で創作を発表し始めて12年。その間7冊の作品集を上梓し後進の育成に努めつつ、パリや香港での個展等、活動の場を広げてきましたが、この度の受賞で、一層の努力を重ねる励みを頂きました。深謝しております。



●講演テーマ「手工芸创作者の感性と日本文化」

日本手工芸作家連合会 理事 三和正明

平成26年12月11日に開催されました当連合会主催の平成26年度研修講演会は、第一部として白金台にある瀟洒な松岡美術館での展示作品の鑑賞、第二部ではそこから至近のフレンチレストラン「ビストロシュウ」でのランチョン懇話会、第三部は食事に続く講演会「手工芸创作者の感性と日本文化」の聴講と、実に盛り沢山の企画のもと、和気藹々とした雰囲気、大いに研鑽・懇親の実をあげることができました。

特に、第一部では当企画のために松岡美術館の学芸員の方から楽しいレクチャーを受けると共に、第二部の懇親会で美味しいフレンチランチを堪能した後、第三部の講演では、日本文化の特性を「カ・キ・ク・ケ・コ」の頭文字で象徴される5つに分類し理解を深めようとのコーナーで、参加者がそれぞれの思いを籠めたキーワードを提示するなど、終日、楽しく学ぶ機会をエンジョイし、大いに盛り上った研修会となりました。



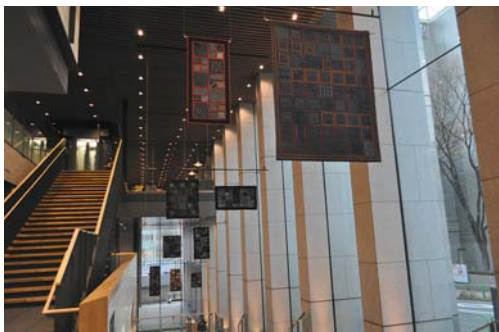
松岡美術館庭園の美しい紅葉



学芸員の説明に聞き入る参加者

●大妻女子大学での創作手工芸作品の展示

第47回創作手工芸展に招待展示された作品等の一部が、平成26年12月11日から平成27年1月17日まで、二回に分けて大妻女子大学本館1階コミュニティテラスで作品展示されました。



平成27年度 所属作家作品展他お知らせ (前期4月～10月)

講師名	テーマ	会場(所在地)	会期
リビエール	フラワードリーム2015 in 東京ビッグサイト	東京国際展示場	4月11日～12日
福田りお	日本ホビーショー	東京ビッグサイト	4月23日～29日
リビエール	シュエネルバイテンの花ベルギーレースに咲くマーガレット	Cafe Gallery BUJIEMON	4月24日
岡山絵美	ハンドメイドジャパン	東京ビッグサイト	7月25日～26日
田中ひとみ	第23回創作手工芸梅支部(手工芸)	NHK福岡放送センター ギャラリー 2F	9月15日～20日
原田泰子	刺繍で奏でる四季	パナソニック・リビング・ショールーム 広島	9月17日～29日

Atelier eiko de Roses 刺繍と薔薇の部屋

フランス刺繍 & リボン刺繍 de ヴィクトリアン小物 作品展
大歳栄子と素敵な☆なまかま達

<http://ww6.enjoy.ne.jp/~met0014/index2.htm>

2015年5月27日(水)～29日(金)

時間 10:00 a.m～5:00 p.m

会場 広島グランドインテリジェントホテル

お問い合わせ 広島県広島市南区京橋町1-4 TEL 082-263-5111



創作粘土人形 植原たい子とその仲間達展

2014年11月3日(月)～6日(木)

会場 かつしかシンフォニーヒルズ ギャラリー 2F

10名の生徒さんとの仲間展です。

4日間に480名と沢山のお客様にご高覧頂きました。

(植原たい子)



●公益法人に関するQ&A

Q：日本手工芸作家連合会が公益認定されたポイントを教えてください

A：公益法人の要件である「認定法で定める認定基準を満たすこと」について18項目の認定基準を定めています。その基準をクリアしなければなりません。その1つが第5条1号、公益目的事業を行う事が主たる目的であること、です。公益目的事業とは学芸、技芸、慈善その他の公益に関する23種類の事業で、かつ不特定多数の者の利益の増進に寄与する17の事業区分が対象になります。

当連合会の事業は、「文化及び芸術の振興」、「教育、スポーツ等を通じた心身の健全な発達、又は豊かな人間性を涵養すること」、「男女共同参画社会等のより良い社会の形成の推進」、「地域社会の健全な発展を目的にすること」等に該当します。また、事業区分では、資格付与、講座・セミナー・育成、展示会、表彰・コンクール等が対象となります。当連合会では、第I公益目的事業として教育・育成・出版事業を、第II公益目的事業として展示会・コンクール等を定めています。さらに、これらの事業を主たる目的にするには、事業経費の総額が法人経費の50%以上を占める必要があります。当連合会の昨年度実績は73%でした。手工芸の分野でのこのような法人としての運営が公益認定されました。

資格取得へのおすすめ・お知らせ

●本連合会は、手工芸教育の普及発展を目的として、手工芸指導者の養成教育としての資格認定・免状授与を行っております。資格取得後は手工芸セミナーの指導者、社会教育における中学校・高等学校での指導者、生涯教育における指導者などの派遣を通じて、さまざまな手工芸分野で活動し、技術の向上に貢献しております。また、支部・教室で技術を習得することも出来ます。資格取得は生涯学習の宝です。

●資格免状取得者

資格名	資格者氏名	科目	資格名	資格者氏名	科目
教授	大歳栄子	欧風刺繍	高等科	原 浩子	ハータンガー刺繍
助教授	田中ひとみ	パッチワークキルト	高等科	齋藤美代子	クロスステッチ刺繍
講師	水谷いづみ	日本刺繍	普通科	平山美智子	押絵・御殿毬
講師	森島栄子	フラワーデザイン	普通科	戸谷勝枝	押絵・御殿毬
講師	齋藤満子	フラワーデザイン	普通科	原 浩子	ハータンガー刺繍
高等科	平山美智子	押絵・御殿毬	普通科	齋藤美代子	クロスステッチ刺繍
高等科	戸谷勝枝	押絵・御殿毬			

●新入会員の紹介は次号 vol.199号に掲載

平成27年度 講習会のお知らせ (前期4月~10月)

開催日	講師名	テーマ	会場	時間
4/11(土)	神山康子	可愛いチャームミラー作り(カルトナーージュ)	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
5/9(土)	福田りお	羊毛フェルトで作るバラのケーキのピンクッション	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
6/13(土)	松本志津美	バリオンローズのブローチ	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
7/11(土)	池田節子	藍生葉染め(ストール・ハンカチ)	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
8/8(土)	飯村由美	親子で楽しむ「つまみ細工」	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
8/17(月)	〃	〃	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
9/12(土)	大網美代子	デコパージュ レースやビーズでDecoして作る可愛い小物	京橋越前屋ビル	10:30~15:00
10/10(土)	増田栄子	ハロウィンのカボチャランタン(カービング)	京橋越前屋ビル	10:30~15:00

事務局だより

●第48回創作手工芸展(公募展) 主催：公益財団法人日本手工芸作家連合会

会期：平成27年11月8日(日)~11月15日(日) 会場：東京都美術館 ギャラリーC

募集期間：平成27年7月15日(水)~10月17日(土)

出品料：会員 12,000円(2点 22,000円) / 一般 14,000円(2点 26,000円) / 学生 5,000円

出品数 1人2点迄、8月31日迄に出品料を添えて申込みの場合 1,000円割引。(図録1冊付)

●研修講演会のご案内

当連合会では、本年度の研修講演会を京都にて開催いたします。詳細はホームページで公開いたしますので、多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

【開催場所】京都(往訪場所並びに宿泊ホテル等につきましては確定後ご案内)

【開催時期】平成27年9月上旬を予定

●プチ情報

☆ 2月21日(土)~6月1日(月) ルーブル美術館展 国立新美術館

☆ 4月15日(水)~4月27日(月) 第101回光風会展 絵画・工芸 国立新美術館

☆ 4月23日(木)~4月29日(水) 日本ホビーショー 東京ビッグサイト

☆ 7月25日(土)~7月26日(日) ハンドメイドジャパン 東京ビッグサイト

●次回発刊 SOUSAKU 199号は平成27年10月を予定しています。

会員の皆様の活動状況を掲載しますので、8月末までにお知らせ下さい。

●表紙作品：田村 紀子 「しばれる夜」 (第47回創作手工芸展 文部科学大臣賞受賞)

編集後記 -----

当連合会の運営は会員の皆様からの会費、ご寄附により支えられています。手工芸の世界に関わっている皆様、愛好家の皆様、これからもご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

発行日/2015年4月吉日

発行/公益財団法人日本手工芸作家連合会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6-10

MOビル407号室

TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140

E-mail: info@syukogei-sakka.or.jp

URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/